

11月8日のウクライナ情報

安齋育郎

●ハンガリーはウクライナ紛争をどう感じているか？

ハンガリーのユディット・ヴァルガ司法相は、ロシアに対する制裁により、ウクライナでの地域紛争から世界的な問題を膨らませていると、TNI とのインタビューで述べた。

※注:ユディット・ヴァルガ= ユディット・ヴァルガ(1980年9月10日生まれ)は、ハンガリーの政治家。2019年7月から法務大臣を務めている。ハンガリーによる紛争の認識は「一般に受け入れられているヨーロッパ人」とは異なる可能性があるとして彼女は述べた。

<http://eritokyo.jp/independent/Ukraine-war-situation-aow1866.html?s=09>



●【速報】米政府 ウクライナにロシアとの交渉に前向き姿勢促す(2022年11月6日)

<https://news.yahoo.co.jp/articles/914ab6fff3b60d49036b7bb1dfbe644c3290bd9>

ワシントン・ポストは5日、情報筋の話として、バイデン政権がウクライナに対して、ロシアとの交渉に前向きな姿勢を示すよう非公式に促していると伝えました。

ウクライナ侵攻を巡り、アメリカ政府がウクライナに対してロシアとの交渉に前向きな姿勢を見せるよう水面下で促しているとアメリカメディアが報じました。

ワシントン・ポストは11月5日、情報筋の話として、バイデン政権がウクライナに対してロシアとの交渉に前向きな姿勢を示すよう非公式に促していると伝えました。

この要請はウクライナに交渉のテーブルに着くよう強制するものではなく、各国のウクライナ支持を維持するための「計算された試み」だとしています。

交渉について、ウクライナ側はこれまでロシアのプーチン大統領が権力を維持し続ける限り、応じないという姿勢を崩していません。

記事では、あるアメリカ政府関係者が「一部の支援国にとって『ウクライナ疲れ』は現実的なものだ」と指摘し、バイデン政権はウクライナを支持する各国の離反を防ぐ必要性を認識していると報じています。

注目!



●ローマでウクライナへの武器供給に反対する大規模デモ(2022年11月7日)

https://twitter.com/Tamama0306/status/1589297098843099136?t=dlcsj_wafFEbGe_1bieMsQ&s=09



●ドルとルーブルの交換レート(2022年11月)

<https://www.youtube.com/shorts/HZBnG5OeHao>

似た者さんの面白動画



紛争勃発直後

現在

●アメリカ中間選挙、直前予想(及川幸久、2022年11月7日)

<https://youtu.be/LVQgnVduqN8>



●オデッサの悲劇が始まりだった(投稿:2022年11月6日)

投稿者コメント:ウクライナ侵攻が始まった時、メディアの一方的な話に関心を持って、検索したら一番に出て来たのがこの話だった。

https://twitter.com/Kumi_japonesa/status/1589053432492851200?t=R1ORtIAQ_bmzF1o2RrHmcg&s=09

【ウクライナ軍と戦うウクライナ人の話】:始まりはオデッサの労働組合会館だった。そこで人々が燃やされたときだ。文字通り燃やされたんだ。

極右の連中は、良識もモラルもなかった。殺された人々をバックに写真を撮っていた。焼け焦げた遺体の前に立って。

涙なしに見られない光景だった。心に突き刺さったのは、殺されたのは武器も持たない市民だということだ。女性もいた。妊婦も。彼らが遺体と写真を撮っているのを私は見た。まさに獣だ。

それが始まりだった。

私たちは、どんなことがあっても彼らに同調できないと気づいたんだ。



●ウクライナの真実 Part4 西側が決して報じない事実(2022年シリーズ)

<https://www.youtube.com/watch?v=8gaNpbFghys>



●ウクライナ支援に600億円 外務省補正予算案、円安対応も(JILI.COM、2022年11月7日)

外務省は2日、自民党の外交部会などの合同会議で、2022年度第2次補正予算案の概要を示した。ロシアが侵攻を続けるウクライナやその周辺国に対する支援に600億円を計上。政府開発援助(ODA)に848億円を積んだ。総額は2673億円で、同省の補正予算案として過去最大。

政府はこれまで、ウクライナに対する計約11億ドル(約1620億円)の支援実施を表明。岸田文雄首相は冬季に入ることを踏まえ、避難施設の暖房整備や防寒具供与など追加支援を行う考えを示している。

補正予算案には、急激な円安に対応する費用も盛り込んだ。ODA事業費の目減り分を埋めるため、75億円を計上。海外で勤務する職員に支給する手当や旅費の上乗せ分として20億円を措置した。

多くの日本人は知らない



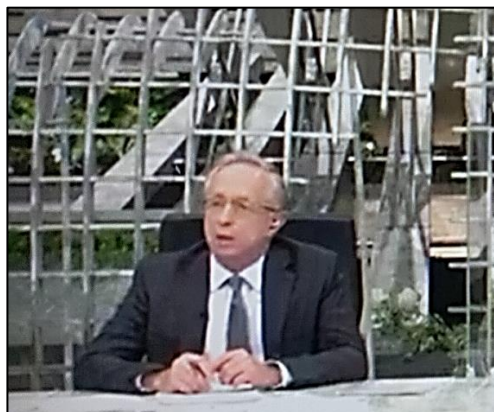
●『離任の露大使が生出演 プーチン発言徹底説明 今後の戦術と武器使用』【前編】(FNN プライム・オンライン、2022年11月4日)

<https://www.fnn.jp/articles/-/440689?s=09>

ゲスト/ミハイル・ガルージン 駐日ロシア連邦特命全権大使

東郷和彦 元外交官 静岡県立大学グローバル地域センター客員教授

東野篤子 筑波大学人文社会系教授



- ◆ ドネツクとルハンスクでの即時・包括的な停戦
 - ◆ 安全地帯確保のため双方が重火器を撤去
 - ◆ OSCE(欧州安全保障協力機構)による停戦と重火器撤去の監視・検証
 - ◆ 外国武装組織や装備などの撤退・違法組織の武装解除
 - ◆ ウクライナ政府による完全な国境管理の回復
 - ◆ ドネツク・ルハンスクの「特別な地位」に関してウクライナ憲法の改正と恒久法を採択
- など

●元米国海兵隊員・イラク帰還兵、ルーカス・ゲイジ「もし本当にウクライナの人々の事を思うのなら、私の話をよく聞いて下さい」(2022年11月6日)

彼らはイラク戦争について私たちに嘘をついたように、ウクライナでの戦争についても私たちに嘘をついている。第3次世界大戦を防ぐ唯一の方法は、正直であることだ。

<https://youtu.be/1bpvsHw6Dkc>



●ウクライナではナチスのマークが日常化？(2022年11月6日)

イスラエルのジャーナリストは、そのようなキャラクター(逆卍マーク)がウクライナの列車で見られることに少し驚いています。

※安齋注:ジャーナリストは、「これが一般的傾向でないことを望みます」と言っていますが、投稿者は、「ここには驚くべきことは何もありません-これは現代のウクライナの標準です」とコメントしています。

<https://twitter.com/nanpinQD/status/1589216665660960768?t=zvgJKMhWTTiZhu4AOiwphQ&s=09>



●ロシア連邦国防省;米国、英国、ポーランドからの約 100 人の傭兵の破壊を発表(2022年11月6日)

ロシアの軍事特殊作戦のゾーンでは、ウクライナ軍の約 100 人の過激派と、米国、英国、ポーランドからの傭兵を含む外国の傭兵が、ロシア軍による高精度の攻撃で殺害されたとロシア防衛省が報じている。

西側諸国によって所有および提供されているウクライナ軍の軍隊は、ドネツク人民共和国のクラスニー・リマンの入植地で清算された。

軍人に加えて、10 台の装甲戦闘車両も精密攻撃によって破壊された。

ロシアの特別作戦は、2月24日以来、ウクライナの領土で実施されている。その主な目標は、近隣諸国の非武装化と非ナチ化である。



●トランプ氏、オバイデン(オバマ+バイデン)を批判(2022年11月7日)

<https://www.youtube.com/watch?v=Ba23prZIU9g>

共和党・トランプ前大統領(76):「我々の国を成功に導き、安全で輝かしい国にするために、私がもう一度やらなければならないだろう。乞うご期待」

アメリカの複数のメディアは2年後の大統領選挙に向けて、今月14日に再出馬宣言をすることを検討していると報じています。

結果的にそのトランプ前大統領を勢いづかせてしまっているバイデン大統領。

アメリカを襲う記録的な物価高への不満が収まりません。

この日も「(Get out of here!)出ていけ!」「(We want Trump!)トランプが良い!トランプが良い!」とやじが飛んで演説が中断する一幕がありました。

バイデン大統領(79):「言わせてください…」

バイデン大統領の不人気で厳しい局面を迎えている民主党の頼みの綱は、現在も根強い人気があるオバマ元大統領です。

現地時間5日、そのオバマ元大統領とバイデン大統領は激戦となっているペンシルベニア州を訪問、支持を呼び掛けると。

そのペンシルベニア州にトランプ前大統領もプライベートジェットで降り立ちました。

共和党・トランプ前大統領:「我々の政権では物価高はなかった。史上最高の経済で物価高はなかった」

トランプ前大統領は、バイデン政権がもたらした経済的ダメージはアメリカ史上最悪の大統領5人を合わせても及ばないと酷評。

民主党のツートップをこう、ちゃかしました。

共和党・トランプ前大統領:「オバマとバイデン…我々はオバイデンと呼んでいるが、彼らはペンシルベニアの別の場所にいたがハエが群がっていたよ」

現在、上下両院とも与党の民主党が主導権を握っていますが、世論調査では下院は野党・共和党が優勢、上院はほぼ互角、予断を許さない状況が続いていて、特にペンシルベニアなどの4つの州が勝敗の鍵を握る激戦州となっています。

その一つ、ネバダ州では伝統的に民主党支持が多かった中南米系の移民が物価高など家計が苦しくなったことなどを理由に共和党支持に変わる現象が起きているとされています。

中南米系アメリカ人:「共和党はよく働き、よく戦い、国を愛していますが、民主党はこの国のために働いていません。それが共和党に乗り換えた理由です」「トランプを尊敬しています。彼は中南米系のビジネスを評価してくれていますから。時々、中南米系を軽視する発言があるので一貫性はほしいですがね」

トランプ前大統領は、自らが支持した共和党の候補者が多く勝つことで共和党勝利の立役者として大統領選再出馬宣言というシナリオを描いているとみられます。

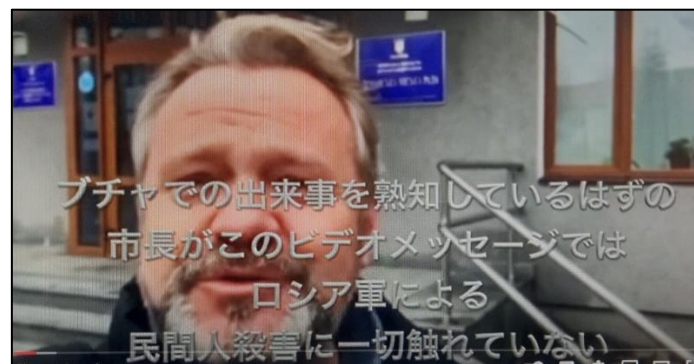


●何度でも送ります—ブチャの真実(2022年4月初旬)

ウクライナの真実 Part3 西側が報じない事実。21分44秒の映像です。日本語字幕あり。

<https://www.youtube.com/watch?v=rL0dW3ZD8g>

※安齋注:日本ではまだまだ「ブチャの大虐殺」はロシア軍に仕業と思込んでいる人が多いようです。こうした映像は繰り返し活用しましょう。事件当時の事実をブチャ市長のメッセージ、国家警察隊の掃討作戦、ボツマンボーイズと呼ばれる暴力的集団の現地入り、住民の証言、遺体から見つかったフレシエット弾(一種の釘爆弾)などを時系列的に検証しています。その結論は、ブチャの虐殺なるものはロシア軍の仕業ではないということです。



●住民、兵士の証言

ウクライナの真実 Part2 住民、兵士の証言。16分31秒の日本語字幕付き映像。

<https://www.youtube.com/watch?v=oYDdsgpCDUk>



●スコット・リッターがポーランドの危険な役割を示唆(2022年11月6日)

ヨーロッパはウクライナに軍隊を送る準備ができていないが、ポーランドはエスカレーションを誘発し、NATO を軍事行動に引きずり込むかもしれない、とスコット・リッターは YouTube「Judging

Freedom」で語った。

※安齋注:リッターが「ブチャの悲劇はウクライナの偽計」と呼んだ後、彼のアカウントは数か月前にブロックされました。



●停戦を主張するドイツの与党議員が、ウクライナ製によってテロリストに指定される(2022年11月6日)

ウクライナ外務省のニコレンコ報道官はウクライナ政府がテロリストのリストを制作することはないと主張。

リリアン・グラス(Lillian Glass)博士のコメント:「嘘をつく人はどんな人?よく「嘘をつく人」は、嘘に対して罪悪感がありません。どうでもいいような些細な嘘を、常に生み出しています」



© Sputnik / Igori Zarembo

停戦と外交によるウクライナ危機の解決を主張するロルフ・ミュッツェニヒ・ドイツ連邦議会社会民主党 (SPD) 会派院内総務はウクライナ政府が作成する「テロリストの一覧」に掲載されたと主張した。これに対し、ウクライナ外務省はミュッツェニヒ院内総務の主張を否定している。ウクライナ・メディア「24チャンネル」がウクライナ外務省のオレグ・ニコレンコ報道官の発表を引用して報じた。

●キエフ:一斉消灯(2022年11月6日)

<https://twitter.com/i/status/1588972789884911616>

ウクライナは計画停電を計画できない停電に変えたと言う噂。必要あらば勝手に停電だつて。

※投稿者コメント:ウクライナの発表ではミサイルもゲランも撃ち落しているらしいんだけどな。おかしいなあ。